



OPRTプレスリリース

令和元年10月29日

令和元年度 第2回OPRTセミナー —「まぐろはえ縄漁業の関心資源の状況等について 2019」— (主要マグロ資源の新たな資源評価結果)

OPRT(一社)責任あるまぐろ漁業推進機構は、会員・賛助会員を対象に下記によりセミナーを開催する。

先着60名まで応募受付(締切11月11日)。申し込みは、OPRT(人見)まで。
(一般の方も受付する。ただし、当日、OPRTの賛助会員へ加入登録をお願いする。
年会費:個人千円、法人1万円)

記

1. 日時: 令和元年11月13日(水) 14:00~16:00
2. 場所: 大日本水産会 大会議室(港区赤坂1-9-13三会堂ビル8階)
3. 趣旨: 本年末までに開催されるマグロ類地域漁業管理機関(RFMO): 大西洋(ICCAT)及び中西部太平洋(WCPFC)においてにおいて、大型まぐろはえ縄操業にとり重要な資源の保存管理措置の議論が、予定されている。
具体的には、昨年会合で1年先送りされた**大西洋のメバチを含む熱帯性カツオマグロの保存管理措置の更新並びに中西部太平洋のメバチ及びキハダの目標管理基準値(TRPs)の設定である。**
については、これら資源の保存管理措置の議論に対する理解を事前に深めるべく、国際水産資源研究所の担当科学者から説明を頂く。
また、8月に開催されたCITESの第18回締約国会議において、大型まぐろはえ縄漁業でも混獲されるアオザメが附属書Ⅱに掲載された。同締約国会議を巡る状況の概要と今後の課題について自然資源保全協会(GGT)から説明して頂く。
4. 演題・講師:
 - (1) CITES(ワシントン条約)第18回締約国会議の結果(アオザメ附属書Ⅱ掲載ほか)及び今後の取組について
一般社団法人 自然資源保全協会(GGT) 業務執行理事 前 章裕氏
 - (2) 今秋・今冬開催されるマグロ類地域漁業管理機関年次会合の主要事項に関する科学的情報について
 - ①大西洋メバチ及びキハダの資源状況(ICCAT:SCRSの認識・管理上の勧告等)
 - ②中西部太平洋メバチ及びキハダについての目標管理基準値(TRPs)策定に当たっての科学議論・勧告。熱帯カツオマグロ3魚種についての資源状況、年齢査定・成長式に関する科学作業の状況。
 - ③その他 大西洋アオザメ資源の評価等
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 国際水産資源研究所
かつお・まぐろ資源部 部長 南 浩史氏

(参考) 各RFMOの年次会合の開催日程及び場所

- ・ ICCAT (大西洋まぐろ類保存国際委員会) 第26回通常会合 (年次会合)
11月16日(土)~25日(月) 於: マジヨルカ、スペイン
- ・ WCPFC (中西部太平洋まぐろ類委員会) 第16回年次会合
12月5日(木)~11日(水) 於: ポートモレスビー、PNG

(問合せ先) (一社) 責任あるまぐろ漁業推進機構

事務局長: 田端 事業部長: 人見

T E L : 03-3568-6388 F A X : 3568-6389

Eメール: maguro@oprt.or.jp